施策名	道路ネットワークの充実

主担当課	建設課	関連課	維持管理課

総合計画体系			
	部	3	都市基盤の整備・産業の振興
	章	3	交通施設等の整備

施策の将来像	市民が安全で快適に通行できるまち

【成果指標】

指標名	単位		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
市内を車でスムーズに移動できると感じている市民の割合	%	目標	34.5	35.6	36.8	37.9	39.0
		実績	33.7	—	—	—	—
市内を自転車で快適に通行できると感じる市民の割合	%	目標	17.8	18.7	19.7	20.6	21.5
		実績	15.0	—	—	—	—
市内を快適に歩行できると感じる市民の割合	%	目標	23.9	24.9	26.0	27.0	28.0
		実績	21.7	—	—	—	—

【投入コスト】

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
決算見込み （単位：千円）	1,151,687	—	—	—	—

【施策の評価と今後の方針】

施策の評価と今後の方針
平成22年度は、各指標とも目標を下回っている。これは赤間駅前の道路整備や尾園踏切の立体事業などが事業中であることや大型商業施設の出店により周辺道路が混雑しているためと思われる。 南北幹線道路として重要な路線である土穴須恵線は、土地区画整理区域内約450mの整備を完了した。また、東郷駅北口駅前広場整備は、関係機関との協議、調整を進めた。 平成22年度の橋梁長寿命化計画策定に伴う橋梁の点検業務は、補助事業未採択のため実施できなかったが、平成23年度以降の橋梁長寿命化計画策定業務を円滑に推進するため県との協議やデータ整理等を行った。平成23年度は、これまで点検を実施した橋梁の残り102橋について点検を実施する。また、平成24年度には全橋梁の点検結果を踏まえて橋梁長寿命化計画を策定し、計画的に橋梁の長寿命化を行う。